

クォーターレポート（6月・9月・12月・3月の年4回発行）

# 気仙沼・南三陸だより

第25号 平成30年6月

発行：気仙沼地方振興事務所



気仙沼管内の宮城県公所が取り組んだ事業や催事などを四半期ごとに紹介します。

## ◆◆ 主な内容 ◆◆

- 気仙沼高等技術専門校：平成30年度入学式を行いました
- 気仙沼地方振興事務所 水産漁港部：気仙沼唐桑産アカザラガイの駅弁が販売されています  
今期のさけ稚魚の放流が終了しました
- 気仙沼地方振興事務所 地方振興部：宮城オルレ「気仙沼唐桑コース」が認定されました

## 平成30年度入学式を行いました （気仙沼高等技術専門校）

4月10日、気仙沼市長をはじめ、宮城県議会議員や気仙沼公共職業安定所長ほか総勢7名の来賓の方々をお招きし、入学式を行いました。

新入生の自動車整備科10名、オフィスビジネス科13名、溶接科1名の合計24名が復興に向けた未来の技術者を目指し、新年度の職業訓練がスタートしました。

白鳥成英校長は、24名の入学を許可するとともに、フットワーク・チームワーク・ネットワークの3つのワークを意識し、技能・技術の習得だけでなく、より多くの立場、より多くの分野の方と出会い、交流を深め、縦・横・斜めにもネットワークを築き上げていく人材となるよう、式辞を述べました。

新入生を代表して、オフィスビジネス科の佐藤亜衣さんが「産業界の要請する技能者となるため、技能の習得と人格の向上に努めます。」と、宣誓しました。

気仙沼高等技術専門校は、昭和37年4月に開校し、今年で57年目になります。これまでに3,700人を超える修了生を輩出しており、各業界で活躍しています。



入学式の様子

## 気仙沼唐桑産アカザラガイの駅弁が販売されています (気仙沼地方振興事務所 水産漁港部)

4月21日から3か月間限定で、JR 仙台駅構内の駅弁販売店舗において気仙沼唐桑産アカザラガイを使った駅弁「復刻 赤皿貝炊き込み飯」が販売されています。

発売に先立ち、4月19日に宮城復興局(仙台市)においてアカザラガイ駅弁販売前試食会が開催され、アカザラガイを生産している宮城県漁業協同組合唐桑支所を始め、株式会社日本レストランエンタプライズ仙台支店、宮城復興局、宮城大学などの関係者が出席しました。参加者からは、素材それぞれの相性がよく美味しい、などの声が聞かれました。

この商品は、東日本大震災直後の津波からのがれて残っていたアカザラガイを使った「赤皿貝炊き込み飯」を平成23年5月から3か月限定でJR 仙台駅構内において販売されたもので、毎日「完売御礼」となるなど好評を博していました。今回はその復刻版として、販売数は1万食を目標にしています。(販売価格(税込):1,100円)

また、このほかにアカザラガイを使った新たに開発された3種類のレトルト品も、同店舗で同時販売されています。ぜひご賞味ください。



復刻 赤皿貝炊き込み飯



アカザラガイのレトルト品

## 今期のさけ稚魚の放流が終了しました (気仙沼地方振興事務所 水産漁港部)

気仙沼大川さけふ化場で5月10日に今期最後の放流が行われました。

放流された稚魚は、昨年12月上旬に採卵し、平均体重0.7gに成長したもので、この日は1,200千尾が大川に放流されました。当ふ化場の今期の合計放流数は、8,200千尾となっています。

また、当ふ化場では、さけの回帰率を高めるため、2月から気仙沼湾(松岩地区)と広田湾(唐桑地区)の2箇所において海中飼育を行っており、2,180千尾の放流を行いました。

そのほか、当部管内では小泉川ふ化場と南三陸のふ化場(小森,水尻)で合わせて17,200千尾の放流を完了しております。

今期は、さけ親魚の河川遡上数(前年比94%)が少ないことに加え、昨年10月下旬の台風による増水で採捕施設の流出で種卵確保に苦労したことや冬期間の飼育水温低下による稚魚の育ちが遅れたことがありましたが、関係者の努力により稚魚放流数は、25,400千尾(平成28年度漁期実績:23,000千尾)で前年比110%を達成することができました。



さけ稚魚放流作業の様子



海中飼育したさけ稚魚

### 宮城オルレ「気仙沼唐桑コース」が認定されました (気仙沼地方振興事務所 地方振興部)

県では、韓国・済州島発祥のトレッキングコース「宮城オルレ」について、昨年 11 月に認定機関となっている社団法人済州オルレとの間で協定を締結し、九州オルレ、モンゴルオルレに続く、世界で3番目の認定に向けた準備を進めてきました。

4月17日に済州オルレ事務局が唐桑を訪れ、最終の審査が行われた結果、「宮城オルレ」のコースの一つとして、気仙沼市唐桑町内を歩く「気仙沼唐桑コース」が認定され、10月にオープンする予定です。

気仙沼唐桑コースは、唐桑半島の先端に位置する「唐桑半島ビジターセンター」をスタート地点として、太平洋を一望できる海岸沿いの遊歩道や石の浜辺、民家の脇道などを通ります。コース上には、漁師町の歴史と暮らしを感じさせる小さな神社や津波石、折石(おいしい)などのビューポイントのほか、桜やツバキ、ニッコウキスゲなど四季折々の植物も多彩にあり、唐桑ののどかで自然豊かな雰囲気を満喫できます。



コースの最終審査の様子